

住民目線で厳しくチェック！

3月13日と14日に、平成25年度予算について議員全員が委員となり、審査を行いました。委員長は土井秀敏委員、副委員長は菅澤昌則委員が選任されました。ここでは、質疑の一部を要約しお伝えします。

一般会計

菅澤環委員 療養介護医療費給付費補助金とは、どのようなサービスにつながるのか。

保健福祉課長 介護を受ける方が入院した場合、医療行為と日常生活の介護部分がありますが、この事業はその介護部分になります。

菅澤昌則委員 町民税、固定資産税、たばこ税が増えている要因は。

総務課長 個人町民税は扶養控除が廃止になったことによる増額、固定資産税は新築家屋60棟等の要因を見込み、対前年度比500万余の増、たばこ税は（税率の改正に伴い）地方分で町分が増え2600万円の増額を見込みました。

高坂恭子委員 放課後子どもプラン推進事業補助金とはどのような内容か。
子育て支援課長 学童保育に対する県を介しての国の助成、補助金です。学童保育に係る事業費から保育料の3分の2が補助で、久賀と多古の2カ所で行っています。

勝又一徳委員 撮影協力が昨年度と比べて13万円から20万円に増えているのはなぜか。

企画財政課長 多古町は撮影するには（都心から）近く、良い場所があると認知されており、今後も増えることが予想されることから増額を見込みました。金額は時間帯により異なります。

石渡悦子委員 新規事業として、高齢者の家具転倒防止事業が盛り込まれたが、この事業内容は。
総務課長 対象となる方は、多古町住

に判断調整を行いながら、宣言できるかどうか検討を加えていきたいと思っています。

土井清司委員 農地集積事業助成補助金200万円とあるが、事業内容は。

産業経済課長 新規に農業基盤強化促進法により利用権を設定する借り手の方に助成するもので、24年度以降新規に賃貸借契約を結んだものに対して交付するものです。

山口清委員 農業基盤の暗渠事業で何件くらいの申請があるのか。

産業経済課長 23年度から農地基盤整備事業ということで、集団、団地化を行った方に用排水の整備等に対しての補助を行っているもので、24年度については5件です。

加瀬芳廣委員 橋梁測量調査設計委託料とは何か。

都市整備課長 町内にある53橋の内、15メートル以上の14橋について、老朽化を食い止める、あるいは延命させるため、どのような修理が必要か業者に設計を委託するものです。

加瀬芳廣委員 コミュニティプラザの燃料費と光熱水費が増加しているが、現状の電気料金から換算しての積算なのか。
生涯学習課長 再生可能エネルギー促

民基本台帳に登録されている65歳以上の方、または障害者で構成されている世帯の方で、住民税非課税世帯を想定しています。
1万円を限度とし、300世帯を見込んでいます。取り付けは、町から（直接）町内業者に委託して行います。

那須保秋委員 公用車運行料の契約内容は。また、町所有車とリース車の台数と（その内）エコカーはどの位導入されているのか。

総務課長 主に町長使用のクラウンを平成25年度までの3カ年長期継続契約で運行しています。町所有の台数は全部で58台（内病院13台）、その中でエコカーはハイブリッド車4台を所有しています。購入については環境に配慮した車を優先的に考えています。

所一重委員 メール配信システム使用

進賦課金の導入により電気料金が上がりました。その実績に基づき増額を見込んだものです。

学校給食センター事業 特別会計

菅澤昌則委員（現年度と過年度の）滞納者数と滞納金額及び今後の対策は。
学校給食センター主幹 過年度分として、17年度から23年度分は238万円で95名です。24年度分は2月末現在、69名で110万8千円です。極力徴収、納付をお願いして努めていくようにしたいと思っています。

国民健康保険事業 特別会計

椎名義光委員 財政調整基金の活用とのか見通しを伺いたい。

住民課長 財政調整基金からの繰入については、決算の状況を見ながら行っていきたくと考えています。財政の状況は、現段階では一億数千万円の繰越になる見込みです。

農業集落排水事業 特別会計

鎌形邦雄委員 一般会計からの繰入金が一億数千万円あるが、（これを）一



土井秀敏予算審査特別委員長

料が40万4千円となっているが、（現在の）登録者数と（配信の）ルールはどうなっているか。

総務課長 町民の方の登録が253名と全職員314名で合計522名です。気象庁の地震情報や気象情報と香取消防本部からの火災情報で、その他の行政情報は町の担当課から直接配信を行っています。

介護保険事業 特別会計

石渡悦子委員 滞納者の現状は。
総務課主幹 2月末で119名、過年度分については70名です。

国保多古中央病院 事業会計

所一重委員 経常損益が19年度は3億円以上の赤字だったが、21年度黒字に転じ、23年度には1億4千万円余りの黒字となった。院長以下事務方、医師、看護師等々の努力が実り、町民にも受け入れられてきたのかなと感じるが、今後病院を運営する上でこつするべきだろうという思いはあるのか。

病院事務長 現在は医師、看護師等医療スタッフがある程度整い最低限の医療は出来ていると感じています。しかし、周辺の病院を見ると医師確保が出来ていない状況です。

院長も私も考えていたのは奨学金制度で、（今後は）医師が集まる形で考えていかなければと思っています。

町長 そのような思いでこども園をスタートしたいと考えています。総合的